

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 1 (改)

(平成18年6月分)

号機	1号機		定期検査		第17回定期検査										
件名	原子炉隔離時冷却系配管の減肉について														
月日	平成18年6月27日(火)			発生	発見	確認									
場所	原子炉建屋	設備	原子炉隔離時冷却系	設備区分	安全上重要な系統										
設備概要	原子炉隔離時冷却系は、主蒸気隔離弁が閉じ原子炉が隔離された場合に、原子炉内の水位を確保し冷却するための系統です。														
所見	・ 原子炉隔離時冷却系の蒸気凝縮ドレンを排出する小口径配管のソケット継手部について、放射線透過検査による配管肉厚測定検査を実施しました（6月25日）。 ・ 検査の結果、当該配管において、基準を満たさず今定検中に取替えが必要と判定された減肉箇所が1箇所確認されました（6月27日）。 測定結果は以下のとおりです。														
	<table><tr><td>外径 (mm)</td><td>公称肉厚 (mm)</td><td>必要最小肉厚 (mm)</td><td>測定結果 (最小値) (mm)</td><td>余寿命 (年)</td></tr><tr><td>27.2</td><td>3.9</td><td>1.7</td><td>1.3</td><td>—</td></tr></table>					外径 (mm)	公称肉厚 (mm)	必要最小肉厚 (mm)	測定結果 (最小値) (mm)	余寿命 (年)	27.2	3.9	1.7	1.3	—
	外径 (mm)	公称肉厚 (mm)	必要最小肉厚 (mm)	測定結果 (最小値) (mm)	余寿命 (年)										
27.2	3.9	1.7	1.3	—											
・ 減肉が確認された配管について新管に取替えを実施し、異常のないことを確認しました（8月16日）。															
The diagram illustrates the Reactor Isolation Cooling System (RIS) and a detailed view of a pipe defect. The main schematic shows the flow from the Reactor Pressure Vessel (原子炉格納容器) through a main turbine (主タービン) and a turbine stop valve (タービン主止め弁) to a vacuum tank (真空タンク). A steam trap (オリフィス) is located on the line between the turbine stop valve and the vacuum tank. The vacuum tank is connected to a drain line (ドレンライン) which leads to a pump (原子炉隔離時冷却系ポンプ) driven by a turbine (ポンプ駆動用タービン). Water is also supplied to the system from a recovery water storage tank (復水貯蔵タンク). A detailed view of the pipe shows a defect (減肉部) at the bottom, with steam flow (蒸気の流れ) indicated by arrows.															
原子炉隔離時冷却系 系統概要図															